

令和8年度入学者選抜試験問題

(教育文化学部・学校教育課程)

初等中等教育コース（一般型）

小論文

学校推薦型選抜Ⅱ

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、1ページあります。解答用紙は1枚あります。問題は1題あります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 5 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

【問題】

次の文章は、哲学者の永井玲衣によるエッセイの一部である。これを読んで、教室の中で互いの考えを「訊くこと」を実現するには、どのような雰囲気の中で話し合いが進められるべきか、そしてそのために教師はどのような指導をするべきか。あなたの考えを800字程度で述べなさい。

# 本文省略

(出典：永井玲衣『世界の適切な保存』講談社、38～40ページ、2024年より一部改変)

注1：参加者同士が対等な立場で特定のテーマや問いについて、一定のルールに基づいて自由に話し合うワークショップのこと。1960年代のアメリカや1990年代のフランスで始まり、90年代から2000年代にかけて日本にも導入された。著者は大学生のときに哲学対話に出会い、大人向けから小学生向けのものまで、全国各地で哲学対話を開催している。

注2：集会・会議などで発言内容を整理し、議論が順調に進行するように口添えする役。